

作成番号:0272

=====

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

=====

号数:2025-272

内容:日本人の約4人に1人はCOVID-19に関する何らかの陰謀論を信じている

出典:Correlates of COVID-19 conspiracy theory beliefs in Japan: A cross-sectional study of 28,175 residents.

PloS one. 2024;19(12);e0310673. pii: e0310673.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39774423/>

COVID-19 パンデミック以降、製薬会社が利益を得るためにウイルスを作成した、世界人口を減らすためにウイルスがばらまかれたといった、さまざまな陰謀論が拡散された。国内でそれを信じる人の割合や特徴の傾向を、旭川医科大学や東北大学の研究者らが調査して、詳細は「PLOS One」12月30日号に掲載された。

COVID-19 パンデミックの社会・医療への影響を把握するために実施された大規模調査「JACSIS (Japan COVID-19 and Society Internet Survey)」のデータを用いた解析を行った。JACSISは、インターネット調査会社のパネル登録者対象のweb調査として、パンデミック発生以降継続的に行われている。今回の研究では、2021年9～10月に行った調査で得られた28,175人(16～81歳)の有効回答を解析対象とした。

1. 大手製薬会社が、ワクチンで利益を上げるために新型コロナウイルス感染症を作った、2. 新型コロナウイルス感染症は、全ての人々にワクチン接種を余儀なくさせるために作られた、3. このワクチンを使って、大規模な不妊化を実行しようとしている——という3項目を、COVID-19陰謀論として採用。その結果、全体の10.2%は前記の陰謀論のうち一つを信じており、6.5%は二つ、7.3%は三つ全てを信じていた。日本人の約4人に1人(24.4%)が何らかの陰謀論を信じていることが分かった。教育歴が長い場合(修士博士課程修了)と短い場合(中学卒)の双方で、信じている陰謀論が少ないという負の関連が見られた。世帯収入については高収入者において、信じている陰謀論が多いという正の関連が見られた(800万円以上)。資産については900～2000万円为正の関連が見られた。雇用状況については、失業・退職者、専業主婦・主夫、パートタイム、自営業のいずれも、負の関連が見られた。特筆すべき点として、海外での先行研究とは逆の傾向が示された。即ち、高収入、高資産、正規雇用が陰謀論の支持と正の関連があり、一方、高学歴とともに教育歴が短いことも、陰謀論の支持と負の関連が認められた。

陰謀論に関する質問の一例

科学者の集団が、大衆を欺くために証拠を操作、ねつ造、または隠蔽している

国家元首の権力は、世界政治を支配している集団がもつ権力にはかなわない

異星人からの接触の証拠は、大衆には伏せられている

新型コロナウイルスは、科学者たちによって作り出された生物兵器だ

